



平成29年3月15日

国土交通省 富士砂防事務所

ICTチャレンジセミナー

“新しい技術”が活躍中！！
実際の活用現場で、技術への理解を深めます！！

国土交通省では、建設現場の生産性向上への取り組みとして、ICT 土工技術の導入に取り組んでいますが、この新しい技術への理解を深めるために、「ICT チャレンジセミナー」を開催し、技術の実践的な内容を学び体験して頂きます。

1. 日 時：平成29年 3月22日（水）9：15～12：00
（雨天等の場合 3月23日（木）に延期予定）
2. 場 所：平成28年度富士山竹沢第1砂防堰堤本体工事現場
住 所：静岡県富士宮市北山地先
3. 参加予定者：富士建設業協会・岳南地区測量設計技術研究会、
静岡県、富士市、富士宮市、国土交通省富士砂防事務所
4. 実施内容： ・ICT 土工とは？
・3次元起工測量結果および3次元設計データの作成について
・マシンコントロールバックホウによる掘削実演、及び操作体験
5. そ の 他： 同様の参加メンバーにより、3次元起工測量見学会を平成29年1月13日に開催しており、今回は、そのときに取得したデータを元に実際に重機を操作するまでについて学びます。
6. 配 布 先：静岡市政記者クラブ、富士宮市記者クラブ、富士記者クラブ

【問合せ先】 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所
副 所 長 島崎 誠
TEL 0544-27-5221（代表）
FAX 0544-27-5986

ICTチャレンジセミナー 会場案内図

見学・体験場所(9時15分開始)

竹沢第1砂防堰堤

竹沢第1砂防堰堤は、G8富士カントリークラブ(旧ナショナルカントリークラブ)駐車場の反対側になります。
G8富士カントリークラブの看板を目印にお進みください。

ゴルフ場の駐車場には絶対に駐車しないよう、お願いいたします。



国道139号の上井出インターを
おりて、水ヶ窪方面へ右折



ログイン

ICT土工技術の活用と普及にむけて、現場見学会を開催

国土交通省では、生産性向上にむけたi-Constructionの取り組みの一つとして、ICT土工技術の活用を目指しています。富士砂防事務所では、“平成28年度富士山竹沢第1砂防堰堤本体工事”の現場で、ICT土工に取り組むとともに、主な施工タイミングにあわせての見学会を開催しています。

見学会は、富士砂防事務所のみならず、地元建設業協会や測量会社、自治体職員の方々にも参加して頂くことで、多くの方がICT土工技術活用の一連の流れを習得して頂くことを目的としています。

ICT土工 施工の流れ

①3次元起工測量

②3次元設計
データ作成

③ICT建機による施工

④3次元出来型管理
等の施工管理

⑤3次元データの納品

第1回:3次元起工測量 現地見学会

(H29.1.13開催)

参加人数 40名

ドローンを用いた3次元起工測量について、作業手順や注意点について学んだ後、実際の起工測量の実施状況を見学していただきました。



ドローンを確認する参加者



測量方法の説明を受けた後に、ドローンの飛行状況を確認する参加者



施工現場状況(写真手前のエリアを掘削予定)

第2回:ICT建機による施工 施工状況見学会・体験会

(H29.3.22開催予定)

募集人数 50名程度

3次元起工測量から、MCバックホウを用いた掘削作業までの流れについて理解を深めて頂いた上で、掘削状況を見学して頂きます。

また、MCバックホウを実際に操作して頂き、自動制御の様子を体験して頂きます。



現場で稼働中のMCバックホウ

MCバックホウとは？



GPSや様々なセンサーの情報から機械の位置や動きを把握し、事前に入力しておいた形状にあわせて自動で掘削する事が可能なバックホウ。